

空腹の苦しみをなくすために

あなたの思いやりが 命を救っています

子どもが集中力散漫になる要因のうち、もっとも影響が大きく、かつ一刻を争う問題が「空腹」です。ニューヨークでもケニアでも、フィリピンから南アフリカにかけても、さらにその先でも、メトロが日曜学校を開催する場所では同じ問題を抱えています。

何日も食事をしていない子どもが集中できるのは激しい空腹感だけです。そこまで空腹に苦しんでいると、神の愛を伝えるメッセージは聞けません。聞く前にまず、神の愛を見ないことには始まらないのです。

あなたのような思いやりのある友

のお陰で、子どもたちは実際に神の愛を見えています。メトロが日曜学校と給食支援を行っているケニアの小学校6年生にエリナという女の子がいて、毎日給食が食べられるのもスポンサーのお陰だと知っており、とても感謝しています。しかしある日、エリナは同じクラスのピリという男の子が、給食もなく、何か買うお金もないことに気づき、非常に心を痛めました。そして決めたのです。「私は朝も多少は何か食べて来られるし、夜も家で食べられる。だから、何も食べられないピリに毎日給食を食べさせてあげよう」と。それ以来、ピリは学校で昼食を食べられるようになりました…少しだけ。残りは持ち帰って家族で分け合っています。神の慈愛。それはメトロのスポンサーの優しさを通じて広がり、ケニアの小さな女の子の犠牲を伴う心によって、さらに多くの命



お腹を空かせた子どもにいきなり神の愛は教えられません。まずは、その苦しみを和らげることで神の愛を見せることが先決です。

に触れるまでに拡大し続けています！

このように、あなたが空腹の苦しみから解放してあげた子どもがいます。しかし、まだまだ多くの子どもたちに救いの手が必要です。認めたくない現実がそこにはあるからです。というのも、飢えに苦しむ子どもたちには、栄養失調により、命取りになる病気にかかりやすいというリスクと同時に、その弱みにつけ込んで子どもを利用する大人たちの標的になる危険があります。人身売買や小児性愛者、麻薬の売人、過激派などです。食べ物や仲間、時には給与支払いなど、偽りの安心感の前に、子どもたちはあまりに無力な存在です。我々はこの子たちにイエスを伝えるために、その前に食べ物を与えるために、手を差し伸べなければなりません。

次ページへ

フィリピン学用品支援！

詳しくは、同封のチラシをご覧ください。

今月のデポーション！

WEB 限定の記事はご覧になりましたか？

← デポーション記事を読むことができます



今月号の目次

P2…空腹の苦しみをなくすために

P3…ビル師からのメッセージ/
祈りの輪

P4…フィリピン学用品&就学支援

P5…今月のデポーション/
フィリピン大火災

P6…日本事務所からのお知らせ

ニューヨークでは：

何日も食事ができずに、泣きながらバスから降りてくる子どもたちを見してきました。空腹のために日曜学校の途中で意識を失う子もいます。この子たちは、決して特別な存在ではありません。統計によれば、私たちが活動している地域の子ども4人のうち1人が飢餓の危険にさらされています。思いやりあふれるスポンサーや支援者の皆様のお陰で、メロでは日曜学校の際に空腹の子どもたちに食事を与えることができています。また、深刻な空腹状態にある子どもとその家族には、時にはスタッフが段ボールいっぱいの食料品を持って行くこともあります。

ケニアでは：

空腹は、あどけない子どもたちを蝕む慢性的で絶え間ない苦しみです。親友やきょうだいの誰かが空腹で亡くなった後に子どもたちが覚える絶望感を想像してみてください。この残酷な現実には、子どもたちを食べ物のみならず、希望にも飢える状態に陥らせるものです。ですからメロでは、日曜学校の際に一人でも多くの子どもに食べ物を与えられるよう努めています。その食事が、その日唯一の食事だという子もいるのです。そして子どもたちは、命をつなぐために苦し紛れの行動に出ます。食べ物を盗んだり、食べ物を買うために貴重品を盗んだり、あるいは単純に物乞いをしたり。最近では、石弓のような道具を学校に持ってきた男の子たちがいて、先生に叱られました。校長先生が確認したところ、それは学校帰りに鳥を撃って家族で食べようと思っただけのことでした。

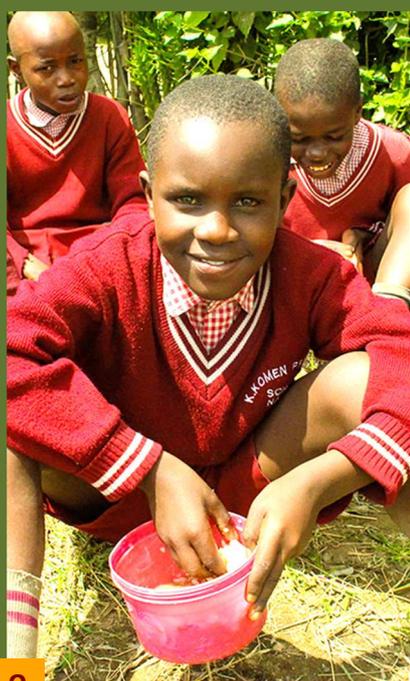


フィリピンでは：

何百もの家族が間に合わせの粗末な小屋に住む巨大なゴミ捨て場でも、メロは日曜学校を開催しています。そこでは子どもたちが、食べ物を買うために何か売れるものがないかとゴミの山を掘り返しています。このような状況にある母親が、絶望のあまり、幼い娘をあなたに差し出して涙ながらに嘆願したらどうでしょう。「この子を連れて帰って育ててくれませんか。お願いします。私にはこの子に食べさせることもできないので。あなたの心は張り裂けそうになり「何かしなければ」と思われることでしょう。

ここまで人の命に関わる緊急性が高まっているのですから、すぐにでも対応が必要です。思いやりの心で事を起こせば、すべてが変わります！

あなたをはじめとして、現状を理解し、行動を起こしてくださる友のお陰でメロの活動は成り立っています。今では、以前より多くの子どもたちに栄養豊かな食事を提供して、元気づけ、福音を伝えて救いに導いています。また、あなたの思いやりある行いには、波及効果があります。イエスの手に渡った5つのパンと2匹の魚のように、私たちが信仰によって他者に与えたものは、有り余るほどになるのです。どうか今、惜しみなくできる限りを捧げてください。必要性が差し迫っているからです。空腹は、メロの子どもたちにとって緊急課題です。身体のために食べ物を、魂のために神の愛を、子どもたちに与えられるよう私たちが協力すれば、解決できるのです！



空腹に苦しむメロの子どもたち

メロの活動目的の中心は子どもたちに福音を伝えることです。しかし、空腹が相手ではなかなか厳しいものがあります…

- 世界の5歳未満の子どもの死因のほぼ半分が栄養失調です。メロが活動している国では、毎年310万人もの子どもたちが該当します！
- ニューヨーク州の食糧難はアメリカ国内で17番目です。4人に1人の子どもが飢餓の危機にさらされており、それに伴う問題を抱えています。
- ケニアでは干ばつが長引いており、今年は安定的に食料を得られない人の数が倍増して260万人に達しました。

空腹のせいで子どもたちを失うわけにいきません。あなたの思いやりに支えられて、メロでは子どもたちにできる限りの霊的・肉体的栄養を与え、キリストのからだを建てあげる努力をしています！心から感謝申し上げます。

「お腹が空いて…」



ある日、入院中の息子を見舞いに行く途中だったごく平凡なクリスチャンの男性が、お腹を空かせた捨て子の少年のところにやってきて声を掛けました。「君、大丈夫？」

ご存じの通り、その日の出来事が私の人生の流れを完全に変えたのでした。両親はすでに離婚し、私は栄養失調でくる病にかかって胸部が変形していました。そんな状況の中、ある日私は道端で捨てられたのです。食べ物もなく水もなく、3日間、私はそこにいました。その私のために立ち止まって親切に声をかけてくれた男性に、やっとの思いで私が言えたのは「僕、お腹が空いて…」という一言だけでした。家庭の崩壊、病気、様々な問題を抱える中で、その時直面していた最大の問題が「空腹」だったので。その人は私に食べ物と飲み物をくれ、それから私を教会のキャンプに参加させるために17ドル50セントの参加費を友人から借りてくれました。そのキャンプで、私は生まれて初めてイエスのことを知ったのです。

2020年はメトロも40周年を迎えますが、私の勢いはまったく衰えません。それどころか、さらに加速しているのです！今や、その勢いは足し算から掛け算的なものにされ、かつてないほどの多くの子どもたちに福音を届けています。あなたをはじめとする「ごく平凡なクリスチャンたち」のお陰で、世界

中のメトロの子どもたちが、絶望から救い出され、すべてが変わる「その瞬間」を経験することができているのです。

一人の子ども的人生を永遠に変える準備ができていますか。あなたを必要としている子どもたちが大勢いるのです。私たちに自分の世界に入って来てもらいたい、神の愛を行動で示してもらいたい、と切実に待っている子どもたちを、私は毎日見えています。イエスの手の中の5つのパンと2匹の魚のように、今、私たちが持っているものを差し出すとき、奇跡が起こるのです。あなたの惜しみない思いやりがあれば、私たちが手を差し伸べない限り何日も食わずにいるしかない子どもたちに、食事を与えることができます。あなたのその行為は、誰かが自分を気にかけてくれていること、さらに大切な、神が自分を気にかけていることを知り、心の安定をもたらします。

どうか力を貸してください。後悔はさせません。あなたの献げ物は、主を知り主に仕える世代の育成に大きく役立ちます。今年、さらに多くの子どもたちがイエスを知ることを、一緒に見届けましょう！

あらゆる必要に応えるために、
祝福され、砕かれ、急発展された者として

ビル・ウィルソン



支援する

■ プレゼント（スポンサーの方のみ）

フィリピン・ケニアは、食料品セットをお選びください。アメリカは、希望品に食料とご入力ください。子どもの誕生日以外でも、いつでもお申し込みいただけます。



プレゼント

■ フィリピン給食支援（どなたでも）

1口10,000円のご支援で、50人の子どもたちに1日分の食事を提供できます。



給食支援

祈りの輪

メトロのパートナーであるあなたは、祈りと支援を通じて活動の任務を担ってくれる貴重な存在です。どうか共に祈ってください…

- さらに世界各地での働きが増え続けるビル先生が強められ、知恵が与えられ、安全が守られますように
- メトロ40周年を迎えるにあたり、世界中で日曜学校に参加する子ども一人一人に対して、スタッフとインターンが同じ情熱と責任を共有できますように
- 幸いにもメトロが支援できている子どもや地域の必要を満たし続けるだけの資金が確保できますように
- 新学期に日曜学校にやってくる子どもたちの心が開かれ神の愛が伝わりますように、また、神を信じ信頼して人生を歩むことができますように
- 食べるにも困る家庭の子どもたちの健康が保たれますように

フィリピン学用品支援&就学支援募集！

～子どもたちに教育のチャンスをも！～

フィリピンでは、貧しさのために多くの子どもたちが初等教育中退を余儀なくされる状況です。

スポンサーでない方も、フィリピン学習支援献金を受け付けております。子どもたちに学ぶチャンスと未来への可能性を提供するため、ぜひご支援をよろしくお願いいたします。



〆切 4月25日

詳細は同封のチラシをご覧ください

こちらからも
お申込ができます

フィリピン学用品&奨学金
お申込フォーム



昨年就学支援のサポートを申し込まれたスポンサーの方から、喜びの声が届きました。

私も、嬉しい気持ちになりました。——

私が支援させて頂いているお子さんの中でいちばん小さな Alex くんが、小学校へ入学しました。先日、支援していた学用品のお礼の気持ちをこめて、写真とお手紙が届きました。Alex くんがバックパックを抱えて照れくさそうにしている写真を見て、とても愛おしかったです。実はこの数ヶ月前、私はフィリピンを訪問していましたので、Alex くんに会って、こんなやりとりをしました。

「もうすぐ小学校だね。楽しみ？」

「うん、今日買ってもらったジョリビー(ファストフード店名)のジュースも持って行くよ！」

「Alex、学校は楽しいところだけど、お勉強をするところなの。ジュースは持って行けないよ。」

「あ、そうか。じゃあ、お勉強する。それで消防士さんになる。」

「消防士さんになりたいの？それはいいね。」

「前にチエがやっていた道端教会学校のところ(地域)が火事になっちゃったでしょう。僕が消せたらよかったのに。」

この数週間後、届いたバックパックが、消防車と同じ赤色だったので、Alex くんは大興奮だったそうです。私のしたことは、ほんとうに小さなことでしたが、神様が Alex くんを思いやりのあるたくましい子に育ててくださっています。きれいごとではなくて、支援している私の方がこんなに嬉しい気持ちになれるなんて、神様がなさることは、ほんとうに素晴らしいと心から感謝しました。



「私が植えて、アポロが水を注ぎました。しかし、成長させたのは神です。(コリント I 3:6)」

2020年3月 今月のデポジション by ビル・ウィルソン

「今日、他の人より少し進んでみる」

「わたしは悲しみのあまり死ぬほどです」と、イエスは弟子たちに言われました。「わたしといっしょにいなさい。」ゲツセマネに向かうイエスの後をついてきた彼らに、夜の静寂を破ってイエスはオリーブの木立の中で語りかけられたのです。くたびれていた弟子たちはその場でイエスが少し進んで行くのを見ていましたが、それはまさにイエスが激しい苦悶と対峙する瞬間でした。

イエスはかつてない苦しみに直面していたはずですが、実際、十字架の受難は目前に迫っていました。しかしまず、イエスはゲツセマネの園に行かなくてはなりません。イエスにとって、カルバリの丘での時間が苦悶の極みだったと一般に考えられていますが、感情面では、ゲツセマネの園こそ最大の苦しみを味わった場所だと私は思います。その夜、何が起こるのか。イエスだけが知っていました。

今、あなたが厳しい試練に直面しているとしたら、試練そのものよりも心にある不安や恐怖の方がつらいのではないのでしょうか。これからの苦悶を想像すること自体が苦痛のほうです。苦しみに直面しなければならないことに怯えながらも、決して逃れられない…ゲツセマネのイエスが想起される状況です。

あなた自身のゲツセマネを体験する時(あなたばかりでなく、誰もが各自のゲツセマネを経験しますが)、励ましや祈りで支えてくれる周囲の人の存在は有難いことでしょう。しかし、人生のこの正念場をご自身で乗り切ろうというなら、他の人から離れて「少し進んで行く」ことが必要です。

もう無理だ、とつぶやくかもしれません。とてつもない重みに引きずり降ろされるかもしれません。しかしイエスはどうだったでしょうか。イエスは他の人を置いて少し進んで行ったと書いてあります。大した距離ではありません。しかしその「少し」が大きな違いを生んだのです。

乗り越えたいと願いますか。今、変化を生み出したいと願いますか。ならば、覚えておいてください。皆が立ち止まったら、その時あなたは進み続けるべきです。他の誰もが諦める状況にあっては、ほんの少し前に進むことが成功の鍵なのです。

「そのとき、イエスは彼らに言われた。

『わたしは悲しみのあまり死ぬほどです。ここを離れないで、わたしといっしょに目をさましていなさい。』

それから、イエスは少し進んで行って、ひれ伏して祈って言われた。

『わが父よ。できますならば、この杯をわたしから過ぎ去らせてください。

しかし、わたしの願うようにはなく、あなたのみこころのように、なさってください。』

—マタイの福音書第26章38～39節—

心をこめて

創立者・主任牧師 ビル・ウィルソン



フィリピン大火災

突然の悲劇に 対処することができました

この復興のために献金くださる場合は、日本事務所に口座からの引き落とし金額をご連絡いただくか、「フィリピン火災復興支援」とご記入の上、下記宛てにお振り込みください。
ゆうちょ銀行169店当座預金0041610
メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン

メトロ・フィリピンのスタッフからその悲報が伝えられた時、私たちは思わず耳を疑いました。昨年10月18日午後2時頃、私たちがマニラで日曜学校を開催していた地域のひとつで、大規模な火災が発生したのです。そこはスラム街で、暮らしている人々は極度の貧困状態にありました。家と言っても適当な小屋にどこかから拾ってきた物を備えただけの粗末なものです。

火災は翌日ようやく鎮火しましたが、数百もの家族が焼け出されました。焼け跡にはまだ濃煙が立ち上り、地面には発火している場所が残っていましたが、子どもたちは（その多くは裸足で）がれきの中を歩き回って金属の破片を探していました。売って食べ物を得るためです。メトロでは、速やかに被災家族へ食料の供給を始めました。

その地域のことをよく知っている私たちは、大災害に見舞われた人々の助けとなることができました…食料、緊急物資、家の再建、精神的な支え、そして希望をもたらすことによって。あなたからの献金をこのような緊急時の資金に充当することもできます。それによって、万一の場合にも有効に活用することができるのです！



日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！ 今年のツアー日程！

今年のメトロ視察ツアーの日程は、以下の通りです。ぜひ、今からご予約をご確認ください。参加をご希望の方は、日本事務所までお早めにお知らせください。

ケニア	9月9日(水)~16日(水)
アメリカ	11月19日(木)~24日(火)

先月号のレポートでお知らせしたメトロ・フィリピン視察ツアーは、申し込みを締め切らせていただきました。

参加する皆様の渡航が守られ、またメトロの働きが祝福されるようにお祈りください。

！メールの返事が来ない？

「日本事務所からの返信メールが届かない」というご連絡を度々いただきます。

いただいたメールには必ずご返信しておりますので、もし日本事務所からメールが届かない場合は、お手数ですが、メトロからの返信メールが、迷惑メールフォルダに自動で振り分けられていないかをご確認ください。

迷惑メールの受信設定をなさっている場合は、以下のアドレスを受信できるように設定してくださいませよう、お願いいたします。

日本事務所メールアドレス

metrojapan@mission.or.jp

日本セミナー 開催希望者募集中！

ビル・ウィルソン師が6月27日から7月6日の日程で来日します。現在決まっているセミナーの日にちと地域は以下の通りです。

大阪	6月28日(日)
東京	7月4日(土)
山形	7月5日(日)

その他の日程で、セミナー開催ができるご推薦の会場がありましたら、できるだけ早くご連絡ください。

日本事務所よりごあいさつ！

不安定な天候が続いていますが、皆様お元気でしょうか。コロナウィルスのお話も見聞きしない日はありませんが、恐れすぎて萎縮してしまわないよう、信仰を持って賢く対応していきたいと思えます。こんなことで主の働きが縮小されたり制限されるのは許されません。

今月のレポートでもお伝えしていますように、メトロの働きは40年を迎え、信じられないほど急拡大しています。

空腹の子どもにただ食料や医療を提供し、精神的ケアをするだけでなく、福音を伝えるという、他の団体との大きな違いがさらに明確になっています。今年のセミナーでもたくさん証しと共に、力強いメッセージを聞くことができますので、どうぞご期待ください。

皆様のご支援に心から感謝し、皆様の上に主の豊かな祝福を祈り申し上げます。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、同封の郵便振替用紙をご利用いただくか、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン